



那賀町立相生小学校

あいおい

令和6年度学校便り

NO.25

2024.11発行

発行責任者

谷 多美子

まだまだ半袖で登校する児童もいますが、登下校時には肌寒さを感じるようになりました。日の出が遅くなり、朝のしたくもおっくうになるかと思いきや、「最近は朝ごはんを食べるのがはやくなった。成長したんよ。」といつもより早く登校しあいさつ運動に参加してくれる児童もいます。ここ最近はいいさつ運動のために早く登校する児童が増えています。



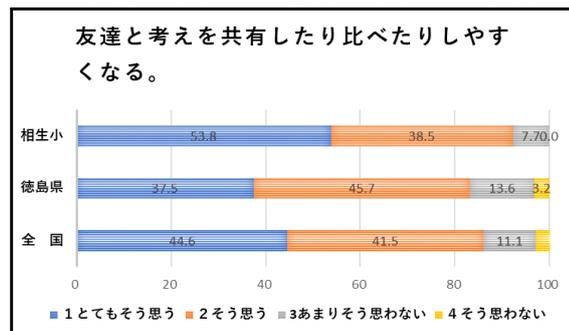
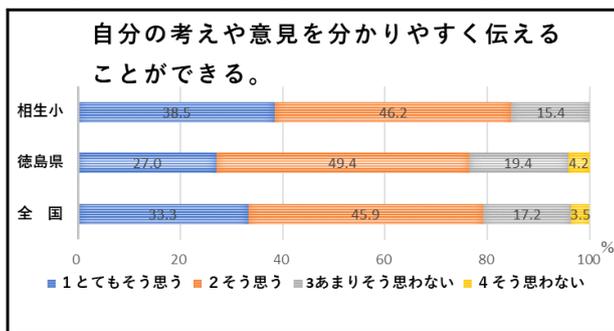
スマイルタイム (2年生発表)

登場人物のお面を付けて宮西達也作・絵「にゃーご」の音読劇を発表しました。朝のあいさつ運動を元気な声で続けている成果が表れたきはきと発表できました。「九九の歌(6段から9段まで)」は、まだ十分覚えていないところもありますが、少々の間違いは気にせず、堂々と声に出していました。声に出すことで、九九がしっかり身に付くと思います。



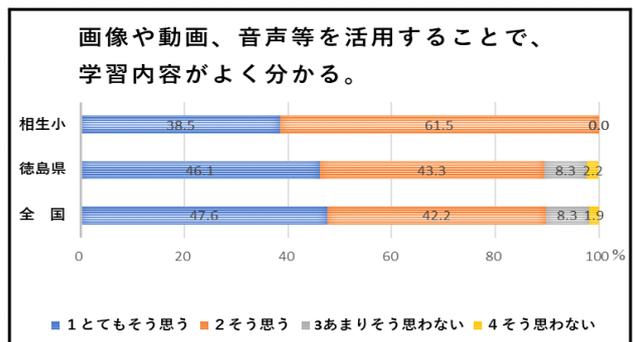
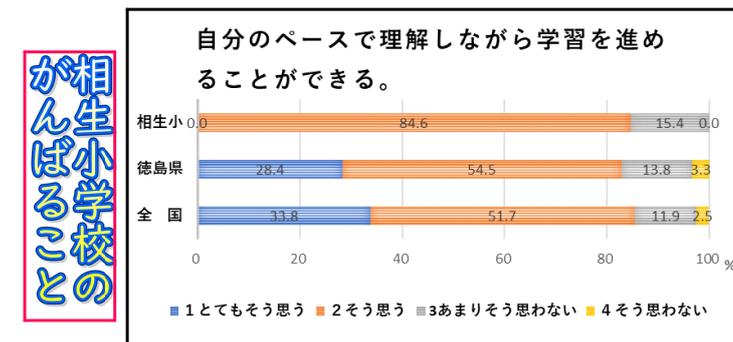
ICT機器の活用についてー令和6年度全国学力。学習状況調査結果よりー

結果から見ると、タブレットを使って発表をしたり、意見や考えを共有したりすることが得意のようです。朝会やスマイルタイムでは、タブレットで発表資料を作成し、情報を伝えることが定着してきました。模造紙や画用紙に油性マジックで書いて資料を作ることはほとんどなくなりました。授業中では、アプリを使って文字や図、グラフで全員の意見や考えを一度に表すことができます。



相生小学校のよいところ

国や県の結果と比較して、今後取り組みたいところは、一人一人が自分のICT機器を活用して自らの学習を広げ、深めることができる力を育むことです。そのためには教育アプリの特徴をいかした使い方の習得も必要ですが、自分の学習状況をふりかえる習慣、粘り強く取り組める意欲も大切な要素となります。



相生小学校のがんばること